



世の中の『困った』を製品に

株式会社ユニパック代表取締役

まつえ あきひこ
松江 昭彦さん
(西川口)

普段、私たちが目にすることはあまり無い『エアフィルタ』。ちりやほこりなどを吸着し、空気をきれいにする。快適に生活する上で必要不可欠な名脇役だ。「フィルタを使って世の中の『困った』を解決することこそ私の使命だ」。フィルタの全てを知り尽くし、15年間、日本のフィルタ業界の旗振りをしてきた。

空調用フィルタは半世紀前から構造が大きく変わらず、コストがかかり、環境にも悪い使い捨てだった。「当時から根底にあったのは『もったいない精神』。長きに渡って続いってきた、使い捨ての常識に疑問を感じました」。

転機が訪れたのは平成18年。それまで培ってきた知識と持ち前のひらめきで、フィルタの洗浄による長期利用を

可能とした。さらに、2つ必要だったフィルタの一体化に成功し、環境配慮とコストダウンの両立を実現。業界を揺るがす革新的な製品となった。その後も、火山灰対策型、アレルゲン吸着型など、多種多様な『困った』を解決するフィルタを開発。今では主要メガバンクや国際空港、大型スポーツ施設など、名だたる施設での導入が続いている。

そして、世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るう今年4月、空気の質を考える『IAQ先端技術研究所』を設立し、以前からの研究テーマの一つであった『抗菌・抗ウイルスフィルタ』の開発を最重要課題として取り組むことにした。「今こそ我々にしか作れないフィルタで、この世界規模の『困った』を解決しなければならぬときだ」。使命感を胸に、昼夜を問わず研究に明け暮れる。社員総出で不屈の努力を重ね、まさに総力戦だ。研究所の立ち上げ、これまでの製品開発で培った知識に加え、薬品会社からも協力を得て開発を急いでいる。世界中の人びとの感染予防となるフィルタへの期待は大きく、完成後は大型施設などに順次導入される予定だ。

「世の中の『困った』は尽きることはありません。中小企業の底力で、これからも歴史に残る製品を作り出していきたいです。その知識とひらめき、そして『もったいない精神』を武器に、これからも多くの人々の『困った』を解決していくだろう。(勝)

